



算数・数学につながる数の指導①

本校では、子どもの実態を把握し、年間教育指導計画や個別の指導計画を作成しています。そして、授業計画を立案しています。

児童・生徒が身につける基礎的・基本的な概念は、学習や生活の基盤となる欠かすことのできないものです。生活の中には、数の基礎に関することがたくさんあります。学習したことを生活に般化していけるよう学校では、具体的・体験的な遊びや生活を通して身に付けていくことができるよう支援しています。



数の基礎概念の指導は、次のような順序で進めていくことが一般的です。

①ものを認知し、弁別することができる

- 色の弁別
- 形の弁別
- 用途や性質による弁別
- 空間概念の形成
- 同じの概念形成
- 未測量の理解



イラストと同じ場所に片付けすることは、「同じ」の概念だね

②同じもの同士の集合づくりができる

- 単純条件
- 複雑な条件
- 抽象概念

同じ大きさのお椀、お皿、お茶碗に片付けることも数の概念につながるよ



③対応づけにより、同じ、多少がわかる

- 一対一対応ができる
- 同じが分かる
- 数の違いが分かる
- どちらが多い(少ない)かが、わかる

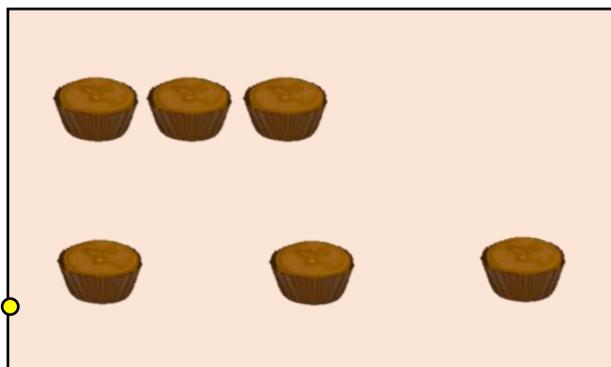


お盆に一つずつ、お皿、お椀、お箸を配膳することも、「1対1対応」だね

④数の保存性を理解する ※数の保存性:ものの数量は、その形が変わっても同じままである

- 標準刺激のある場合の保存の理解
- 標準刺激のない場合の保存の理解

同じかな?
違うかな?



児童・生徒の日常や授業での様子を見ながら、スモールステップでの取り組みを大切にしています。



※連載講座「算数・数学につながる数の指導」筑波大学人間系教授 川間健之介 より

今後「算数・数学につながる数の指導」をシリーズ化し、ホームページにアップしていきたいと考えています。参考にしていただけると幸いです。

学校見学に参加いただきありがとうございました。

9月には、体験入学を計画していますので、本人がきのかわ支援学校の授業に参加していただき、よりよい学びの場を決定していく参考としていただければと思います。

【日程】	小学部	9月	10日(金)	17日(金)	24(金)	〈予備日〉	10月	1日(金)
	中学部	9月	13日(月)	27日(月)			10月	4日(月)
	高等部	9月	9日(木)	16日(木)			9月	30日(木)